

**ドローンが活躍！ 奈良県内消防団 初！**  
 ～奈良市消防団情報収集部隊～

※奈良市東部と市街地の2部隊  
 ※1部隊あたり5人（ドローン有資格者）  
 ※市内全域が出勤範囲。他市町村から要請があれば状況により出勤



令和5年4月より運用が開始されたドローンは山間部などの地上からの接近が難しい場所や過疎地域など、消防隊の現場到着までに時間がかかる場所を上空からの確認により効果的に広範囲の災害情報が取得できる他、例えば災害範囲の計測など今まで現場で目視していた災害後の状況確認が縮尺地図とドローン撮影画像を重ね合わせることで、安全・迅速に対応可能となり、今後の活躍が期待されます。

～ドローン隊初参加～

**西部方面隊  
災害救助訓練**



ドローンの画像



令和5年6月11日  
 富雄第三小学校にて  
 西部方面隊（都跡・平城・富雄・伏見）による訓練が行われました。



ドローン操作の様子

報収集部隊のドローンから共有しての救出活動があり、発見から救助、安全な場所への救出までの一連の流れに沿って、団員間の連携を取りながら訓練に臨んでいます。

初訓練の模様は、ドローン操作の様子、ドローンからの共有画像、発見から救助までの流れ、安全な場所への救出までの一連の流れに沿って、団員間の連携を取りながら訓練に臨んでいます。

水害を想定してのボートによる救助訓練も行われました。



ボートによる救助訓練

くまでしこ新聞



**奈良市消防団だより**

発行 奈良市消防団  
 〒630-8145 奈良市八条五丁目404-1  
 奈良市消防局 総務課内  
 ☎ 0742-35-1199  
 編集人 奈良市消防団 広報指導分団 増村 映里子

**防災学習にも活用！**

**救助用資機材・防災学習用資機材  
搭載型小型動力ポンプ積載**

消防団の教育訓練を通じて災害対応能力の向上を図ることを目的とし、防災学習用資機材を装備した【多機能型の新型車両】が総務省消防庁より無償貸与されました。



今回、車両と共に貸与された資機材の中のひとつに、VR煙訓練装置があります。これまで煙ハウスでの視界不良や、煙の流れを体験することはできませんでした。日常では難しい火災現場での避難行動をVRで体験できます。この他、心肺蘇生訓練用人体（レザシアン）、訓練用水消火器「はやわざクン」や、訓練用AED、障害物や車に閉じ込められている要救助者



普通運転免許で運転可能なこの車両は、平常時には防災学習用資機材を、災害救助時には救助用資機材やポンプを積み込むことで臨機応変な対応ができ、地域防災力強化に向けた活用が期待されます。

車両後部には電動リフトが設置されており、最大昇降能力400kgの資機材を安全に積み下ろすことができます。普通運転免許で運転可能なこの車両は、平常時には防災学習用資機材を、災害救助時には救助用資機材やポンプを積み込むことで臨機応変な対応ができ、地域防災力強化に向けた活用が期待されます。

者を救助する際に使用するチェアソーやエンジンカッター、電動アームなどが搭載され、消火の際に使用する防火水槽や搬消防ポンプなども搭載されています。そして、車両には1KW出力のバッテリーが搭載されており、車内後方と助手席後部に備えられた4つのコンセント（各100V）をつなげば大型自立LEDライトが設置でき、夜間の活動も可能となります。



車両後方に装備された電動リフト

**奈良市消防団  
辞令交付式**

**三年ぶりに勢揃い！**

令和5年4月16日、奈良市役所正庁にて辞令交付式が執り行われました。

コロナ禍での数年間、規模の縮小を余儀なくされてきましたが、本年度は多くの消防団員が出席する中、各表彰や新入団員・階級異動・所属異動の団員に対し辞令交付が行われました。

交付式前には消防団員としての心得や、新たに発足した「情報収集部隊（ドローン隊）」についての紹介などもあり、これからの消防団としての活動にむけ出席した団員一同真剣な面持ちで話を傾けていました。



**新型車両  
配備完了**



防災標語をかかげるカラーガード隊



↑ 各体験の様子 ↓



地元辰市でLP ガス販売業を営む傍ら、近くの田んぼでおいしいお米を作っています。

まだまだひよっこですが、村のセンパイたちに鍛えられながら日々楽しく励んでいます。

消防団員として、ある日突然やってくる災害に備え自分たちの立場で出来ることは何なのか？と、常々考えています。

また、LP ガスの性質上、災害時における出番は少なからずあるはずなので

**<知恵と工夫>**をモットーに、楽しく仕事と共に消防団活動の幅を広げていきたいです！



我が分団 自慢の「人」

辰市分団 班長 前田 伸介

# みんな集まれ！！

## 夏休み 消防フェア in 西消防署

オープニングではカラーガード隊が演技を披露しました。演技の最後には、「命を守る住宅火災警報器10年経ったら交換しよう」と標語を掲げ、防災啓発を行いました。

イベントでは、ロープ渡過体験に放水体験、避難体験と水流・水圧体験、防災紙芝居の5つのブースを巡ってのスタンラリーや、こども心急手当体験、熱中症予防の動画視聴や災害時に活用される簡易段ボールベッドなどが展示されていました。



一緒に演技体験

今回の体験ブース「水流・水圧体験」の装置は、富雄分団による手作りです、どのように作られたのかも興味をそられました。

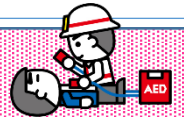
また、カラーガード隊のポンポンやフラッグ体験では多くの子どもたちがフラッグを手にとって回してみたり、ポンポンを持って見様見真似で一緒に踊り、楽しく演技をしてくれました。

防災イベントでは災害に関する体験は意識を高める上で必要不可欠です。一方、カラーガード隊との演技体験は、子どもたちにとって「消防団」への興味のきっかけ

様々な体験を通して  
防災意識を高めてもらいたい

奈良市西消防署にて『夏休み消防フェア』が開催され、久しぶりに参加された多くの方と一緒に楽しみ、にぎわったイベントとなりました。

### 応急手当講習会 開催



胸骨圧迫の実習風景

令和5年6月11日、富雄南小学校校体育館において、富雄南地区自主防災防犯協議会・富雄南地区女性防災クラブによる応急手当講習会が開催されました。

受講された30名を対象に救急救命士による「傷病者を発見した皆さんが119番通報をし

て、僕たち救急隊が現場にむかっている間に、胸骨圧迫やAEDを行うことがとても重要です」と、自主性を促す一から講義がスタートし、前半に心臓の仕組みについて説明があり後半は成人と乳幼児のグリップに分かれ、人形を使用した応急手当の実技が行われました。

今回の講習会では、受講された方より「幼児対象の応急手当を体験できて良かったです。」との声もあがっていました。

また、6月14日には、二名小学校においてプールで生徒が溺れたとの想定で応急手当講習が行われ、基本的な応急手当だけでなく様々なシーンを想定した実践の重要性を感じました。

また、6月14日には、二名小学校においてプールで生徒が溺れたとの想定で応急手当講習が行われ、基本的な応急手当だけでなく様々なシーンを想定した実践の重要性を感じました。

募集中！

あなたにも、できることがあります

古都奈良を守る  
消防団



奈良市消防団 HP は  
こちら



HP では過去に発行の新聞も  
ご覧いただけます。

《入団・応援の店に関する問い合わせ》  
奈良市消防局総務課内

TEL. 0742-35-1199



奈良市消防団応援の店  
詳細はこちら

編集後記

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症がら類感染症となり、消防団の行事や活動も徐々に元に戻りつつあります。

コロナ禍中は自粛により活動中止やイベントの規模縮小等の制限がありました。このことから今までの活動に引き続き、皆さまのご協力をお願いいたします。